

原油高 穀物高 農漁民支援 すぐに

投機規制し直接補てんを

日本共産党

原油・穀物高で政府に要請



原油・穀物急騰で谷川農水省大臣政務官(中央)に申し入れる日本共産党国会議員団。
左から高橋、吉井、こくた、井上の各議員=28日、農水省

日本共産党国会議員団は七月二十八日、原油高騰から国民を守るため、政府に対策を申し入れました。こくた恵二、吉井英勝、高橋ちづ子各衆院議員、井上哲士参院議員が、福田康夫首相あての申し入れ書を農林水産省の谷川弥二大臣政務官に手渡し、懇談しました。(申し入れ全文は裏面)

申し入れ書は、原油や穀物急騰が投機マネーによって増幅されているとして、「投機マネーによる価格押し上げは、漁民や農民などには何の責任もない。不当に押し付けられた経営危機の問題は、政治の責任で解決するしかない」と強調。(1) 国際的な協調の力で投機マネーを規制するための実効ある行動に踏み出す(2) 投機マネーの規制で価格引き下げが実現するまでのあいだ漁業者、農業者などにたいする直接補てんの措置を取る、の二点を求めています。

箕島漁協を調査する山下議員(中央)ら=7月17日



現地訪ね深刻な実態聞く

共産党 近畿各地で調査・申し入れ

山下参院議員が和歌山・箕島漁協へ

山下よしき参院議員は夕チウオ漁日本一で、一週間の休漁を行った和歌山県箕島町漁協を訪問しました。組合長らは「燃油は三倍。一日休漁すれば二千万円のマイナス。それでもやらんといかん」と訴え。山下議員は「政治が解決すべき問題」と対策に全力をあげる決意をのべました(7月17日)。

京都府議団 府に緊急対策求める

共産党京都府議団は原油高騰による農業・漁業・中小企業などへの影響を調査。「激甚災害」とも言える状況だとして、営業と暮らしを守るため府知事に八項目の緊急対策を求めました(7月29日)。

兵庫県議団 漁業まもる対策求める 共産党兵庫県議団は県に対し、兵庫の漁業をまもるため

▽原油価格高騰などによる被害実態の調査、▽県独自の緊急支援策とともに国に「直接支援」の実施を強力に求めるなどの要望を行いました(7月30日)。

日本共産党は、以上のような見解を発表したので紹介します。

日本共産党
国会議員団

近畿

ブロック事務所ニュース

2008年8月号外
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp